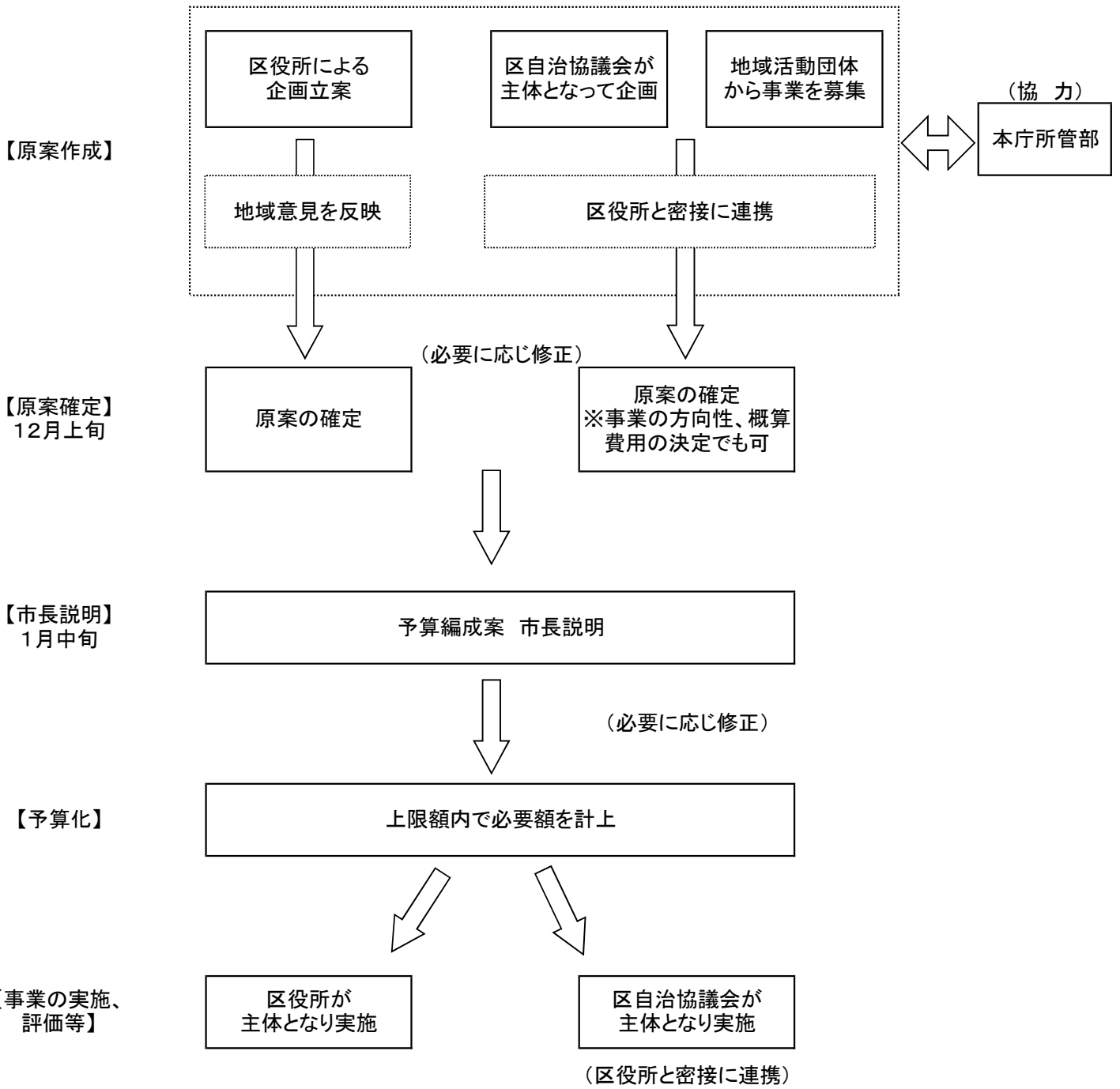


○ 基本的な枠組み

	区役所企画事業	区自治協議会提案事業
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>区独自の課題解決に向けた取組</li> <li>区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を活かした取組</li> <li>区の自然・風土を活かした取組</li> <li>区民との協働による取組</li> <li>区民との協働を目指した取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区自治協議会が提案する、地域課題の解決に必要となる新たな事業や既存の取組みとの連携を図る事業</li> </ul> <p>※予算編成段階までには、事業の方向性や概算費用を決めることとし、詳細な内訳は執行段階までに決めることも可とする。</p>
件数	<ul style="list-style-type: none"> <li>件数制限なし</li> <li>区内を対象としたソフト事業</li> </ul>	同左
限度額	29,000千円	
	※各区に配分する予算額は、令和元年度と同規模を予定していますが、財政状況により予算編成過程で変更となることもあります。	
期間	原則3年以内 (ただし、事業評価を実施したうえで延長可)	原則1年 (ただし、事業評価を実施したうえで延長可)
自治協議会の関与	意見反映型	提案型
	区役所が事業を企画立案するにあたり地域意見を反映させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治協は、事業の企画段階（提案書の作成）、実施段階（多様な実施主体のコーディネート等）、評価段階（実施事業の点検）、改善段階（提案の見直し）の各過程において、区役所関係課と密接に連携しながら主体的に取り組むこととする。</li> <li>自治協は、実行委員会方式など地域活動団体（地域コミュニティ協議会、社会福祉協議会、NPO等）と連携した事業の実施について積極的に検討を行い、効果的な協働の推進を図ることとする。</li> </ul>

区役所企画事業

区自治協議会  
提案事業



# 特色ある区づくり予算 事業案策定スケジュール

月	区役所企画事業	自治協提案事業		
	自治協議会本会議		事業検討委員会	部会
7月中旬				
7月下旬	<b>第4回自治協議会</b> ※事業提案意見募集	<b>第4回自治協議会</b> ※事業提案依頼(各委員へ) ・①従来どおり、②協働実施、 ③募集事業の区分について ・部会横断的な実施も視野		
8月上旬	意見募集締切 ※総務課とりまとめ	意見募集締切 ※地域課とりまとめ		
8月中旬				
8月下旬	<b>第5回自治協議会</b> ※委員提案報告  ⇒関係所属へ依頼 ・委員アイデアの検討 ・事業調書の作成	<b>第5回自治協議会</b> ※委員提案報告		
9月上旬			<b>委員会開催</b> ※提案事業の部会割振り ※部会横断事業の整理	
9月中旬				
9月下旬		<b>第6回自治協議会</b> ※委員提案報告(振分け後)	→	<b>部会開催</b> ※次年度提案事業協議
10月上旬	区長ヒアリング		必要に応じて <b>委員会開催</b> ※検討した提案事業整理 ※予算割振り・調整	
10月中旬				
10月下旬	<b>第7回自治協議会</b> ※企画事業の中間報告  ⇒修正意見などを参考に 企画案をかためる			<b>部会開催</b> ※次年度提案事業協議
11月上旬			必要に応じて <b>委員会開催</b> ※検討した提案事業整理 ※予算割振り・調整	
11月中旬				
11月下旬	<b>第8回自治協議会</b> ※企画事業意見聴取 (事務局案を審議・承認)			<b>部会開催</b> ※次年度提案事業協議
12月上旬	予算要求作業		<b>委員会開催</b> ※検討した提案事業整理 ※予算割振り・調整	
12月中旬		<b>第9回自治協議会</b> ※提案事業の決定報告 (各部長より)		
12月下旬		予算要求作業		



<b>北区 予算の概要</b>	「自然・活力・安らぎにあふれるまち-住みたくなるまち 北区-」の実現に向け、次世代農業の推進や地域商業の活性化に取り組むとともに、子育て支援及び介護・認知症予防など福祉の充実を図ります。また、北区の特長である自然や伝統文化・スポーツ活動を活かし、北区の魅力や誇りを高める、地域との協働の取組みを推進します。
---------------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
<b>特色ある区づくり予算</b>	豊かな自然と共生するまち	
	地域協働で創る海辺の森 【新規】(3,500千円)	これまで行政が主体だった保全活動を、地元の住民やボランティア団体、大学などと連携した保全活動とするため任意団体に支援をします。また、地元の住民で実施する海辺の森の資源を活用したコミュニティビジネスを支援します。
	松浜海岸の環境整備と地域活性化 (3,400千円)	松浜海岸に隣接する民家等への飛砂防止について、地域住民と協働し、植樹活動などにより、生活環境の改善に取り組みます。
	都市機能が充実したまち	
	北区の賑わいづくり 【新規】(1,000千円)	北区内全体の発展、賑わいの創出を図るため、北区の玄関口である新崎駅の拠点化に向けた地域住民による協議会の活動を支援するとともに、駅周辺の賑わいづくりや活用をともに考えます。
	活力ある産業のまち	
	魅力発信キタくなるプロジェクト 【新規】(3,000千円)	交流人口拡大のため、市外・県外在住者に向けた広報を実施するほか、観光資源を整備して魅力を向上させ、新規観光客の開拓とリピーターの増加を図ります。
	次世代農業の推進 (1,000千円)	農産物のブランド化などを通じた「稼げる農業」の仕組みづくりに、農作業の省力化を可能とするICTなどの新技術導入という視点を加えた、「次世代農業」への取組みを支援します。
	地域商業魅力創生プロジェクト (1,600千円)	地域商業活性化のため、設定したテーマを用いた商品・コンテンツ開発やPR展開を行い、各個店などにおいて使用することで、新規顧客獲得とエリア全体の一体感を持ったイメージアップを図り、継続した賑わいを創出します。
	学びあい、健康で、人にやさしいまち	
	地域「ひと・まち」パートナーシップ支援 【新規】(1,600千円)	新潟医療福祉大学から地域コミュニティ協議会や学校などへ、ひとづくり・まちづくりを連携・協働するタッグパートナーを派遣します。
	介護予防のための専門職派遣 (800千円)	介護予防の知識と方法を提供することで、自ら介護予防に取り組むことができる高齢者を増やし、健康で暮らせるまちづくりを推進します。
	北区総合スポーツ事業 (1,500千円)	様々な競技による総合スポーツ大会の開催と、併せて気軽にスポーツを楽しめる区民参加型のイベントを実施することで、区民の一体感を高めるとともに健康増進を図ります。
	公共施設の利用促進バス事業 (2,200千円)	夏休み期間中の子どもたちを中心に、北区内の公共施設の利用促進を図るため無料バスを運行します。
	郷土芸能の伝承支援 (300千円)	北区に伝わる神楽などを地域の人に知ってもらうための発表の場と、後継者として期待される子どもたちへの伝承に向けた取組みを支援します。
	地域子育ての支援 (2,600千円)	子育て仲間づくりなど、地域で子育てを支える体制構築を推進し、不登校・引きこもりや児童虐待の予防に繋げるなど、児童の健全育成を推進します。
	認知症予防(もの忘れ検診)の推進 (900千円)	認知機能の低下が疑われる人を早期に発見し、適切な支援・サービスに繋げるため、北区の65歳以上の希望者に対し、国保の特定健康診査、後期高齢者健康診査を受診の際に、「もの忘れ検診」を実施します。
	安心安全で暮らしやすいまち	
	地域防災ひとづくり 【新規】(600千円)	今後、防災士が地域で活躍するために必要な知識や技術のスキルアップと併せて、訓練現場での指導技術を防災訓練の企画運営、訓練種目の指導などの実習を通して習得するとともに、防災訓練に必要な指導の手引きを作成します。
	<b>主な事業</b>	北区役所庁舎整備 (773,000千円)

東区 予算の概要	人口減少、少子・超高齢社会への対応を最重要課題と捉え、地域コミュニティ協議会、区自治協議会をはじめ地元企業や地元大学なども含めた地域の皆様と連携・協働し、心地よく暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、地域の特色を生かした魅力づくりに取り組み、人もまちも元気で笑顔があふれる東区を目指します。
-------------	--

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	心地よく暮らしやすいまち	
	東区安全安心ファミリーフェスタ【新規】(700千円)	警察や各団体と協働して「東区安全安心ファミリーフェスタ」を開催し、シミュレーター体験や各種啓発展示などを通じて、幅広い世代の区民に防災、防犯、交通安全に対する意識向上を図ります。
	美しい東区環境づくり(1,700千円)	区内一斉清掃や環境ポスターコンクールなどを通じて、まちの美化や環境保全意識の向上を図る取組みを進め、「クリーン東区」のイメージ定着を図ります。また、啓発看板を作成し不法投棄の防止に取り組みます。
	高齢者見守り訪問(2,300千円)	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に、見守り訪問を実施して生活の様子を確認し、状況に応じて必要なサービスへの誘導を図ります。
	地域で取り組む健康長寿(800千円)	区民の健康寿命延伸を目的に、知識の普及啓発のための講演会を実施するとともに、ウォーキング等自主的な健康づくりや介護予防のグループ活動を支援することで、地域での継続的な健康づくり活動の活性化を図ります。
	東区子ども・子育てサポート(4,600千円)	親子の集う場や親同士の交流の場の提供、様々なニーズに対応した子育て支援講座の開催などを通じて、子育ての不安感や孤立感の解消を図ります。また、子どもへの虐待防止の強化を図るため、関係者のスキルアップ研修を行います。
	わが家の防災力の向上(3,000千円)	地域防災力向上のため、「防災出前講座」や「親子向け防災イベント」などを開催し、地域の特性や防災基礎知識を学んでもらうことで、災害発生に備えるとともに、区民の更なる防災意識の醸成を図ります。
	東区安心安全な地域づくり(300千円)	地域の防犯力向上と子供たち自身の危険回避能力を育むため、地域住民と小学生による「地域安全マップ作り」を支援します。また、防災、防犯、交通安全に対する区民の意識の醸成を図るため、区役所内に広報展示コーナーを設置します。
	魅力あふれるまち	
	こいのぼりプロジェクト in 寺山公園【新規】(2,700千円)	寺山公園及び子育て交流施設「い〜てらす」の更なる知名度向上を図るため、区民から無償で提供していただいた「こいのぼり」を掲揚するとともに、地域の関係団体と連携したイベントを開催することにより、東区の魅力を市内外にアピールします。
	東区まんなか文化プロジェクト(2,500千円)	東区市民劇団による演劇公演や、新潟県立大学と連携したイベントを開催することにより、東区のまんなかである区役所庁舎から文化を発信していきます。
	東区の産業・観光にぎわいプロジェクト(2,200千円)	東区の個性である「産業のまち」を区内外に広く発信し、東区の魅力をアピールすることで、区民としての誇りの再発見と交流人口の拡大を促進します。
	東区歴史浪漫プロジェクト(5,200千円)	東区にあったとされる説が有力な「淳足柵」と、2014年度に古墳と確認された「牡丹山諏訪神社古墳」の周知を図るとともに、区民・商店街等と協働しながら、地域の誇りづくりと活性化に取り組みます。

中央区 予算の概要	「歴史と文化の薫りただよう、うるおいとにぎわいのまち」を目指し、中央区の魅力を活かしたまちなかの活性化を推進する取組みや、子育て・高齢者・防災などに関する取組みを地域と連携・協働しながら行います。
--------------	--

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	魅力的で活力あふれる拠点のまち	
	路上駐輪の対策 【新規】(1,500千円)	古町地区における歩行者の通行や緊急時の避難路確保等のため、路上駐輪に対する定期的な啓発活動として自転車等駐輪場への誘導を行い、駐輪マナーの向上及び路上駐輪の削減を図ります。また、対象を古町地区に絞ることで、地元商店街組合等との連携をさらに密にし、より高い成果を目指します。
	アトリウム発にぎわいプロジェクト (1,200千円)	中央区役所の「門前」であるNEXT21アトリウムで様々な催事を実施することにより、地域や民間の方々の情報発信の場としてアトリウムを活用してもらうためのPRを行うとともに、関係団体とも連携を図りながら、にぎわい創出の契機とします。
	安心してすこやかに暮らせるまち	
	地域主体の人口減少に関する取組の推進 【新規】(600千円)	コミュニティ協議会や地域団体等を対象に、地域カルテを活用した研修会やワークショップを、モデル地域を選定して試行的に実施し、人口減少・高齢化に対応した自主的な取組みにつなげてもらうための土台作りを進めます。
	糖尿病の予防の推進 (1,700千円)	区の健康課題である糖尿病について、多くの区民に関心をもってもらう、糖尿病の正しい知識や予防方法を啓発するためのイベントを、商業施設が集まる古町などの市街地で民間事業者・関係機関と協働して実施します。
	みんなでつながるにっこに子育て応援 【新規】(4,200千円)	妊娠期から乳児期に安心して子育てができる体制づくりと保健師・助産師等の専門職による切れ目ない支援を、地域の関係機関と連携・協働して行います。
	赤ちゃん誕生お祝い会の支援 (600千円)	赤ちゃん誕生を機に、地域の子育て中のママ・パパ同士だけでなく、地域住民との交流を深め、地域全体での子育て支援と多世代間交流を図るため、地域における「赤ちゃん誕生お祝い会」の開催を支援します。
	話そう・つなごう・あなたの想い終活きっかけ作り 【新規】(1,000千円)	独居高齢者や身寄りのない高齢者が、事前に意思表示する医療やケアを人生の最期まで受けられ、安心して暮らし続けられるよう関係機関と連携・協働して支援します。
	防災人材育成・地域づくりへの支援 【拡充】(6,000千円)	災害に強いまちづくりに向けて避難所運営に係る研修会等を開催し、防災資機材や保管庫の整備に対する助成を行います。また、避難行動要支援者を地域で助け合う体制づくりを進め、地域による津波自主避難マップの作成を支援します。
犯罪のない地域づくり 【新規】(500千円)	中央区では特殊詐欺の発件数・被害額ともに突出していることから、高齢者を主な対象として区役所独自の働き掛けにより特殊詐欺に対する注意喚起を行います。	
水と緑が調和したやすらぎのあるまち		
とやの物語<<NEXT STORY>> 【新規】(3,300千円)	鳥屋野潟の自然に触れ、未来を語り合うとともに、自然環境の大切さを啓発するイベントとして「とやの物語」を実施するとともに、新たに他団体との連携など、多角的な活動に取り組みます。	
区民協働森づくりの推進 (5,000千円)	新潟島の海岸林の必要性・重要性を周知し、防風対策を図るため、モデルエリアとした市営汐見台住宅跡地に続き、海浜植物園周辺にクロマツの植樹を行います。また、近年新潟島でも松くい虫の被害が確認されていることから、松くい虫に抵抗性のあるクロマツを植樹します。	
未来につなぐ歴史・文化のまち		
地域のお宝！再発見 【新規】(2,100千円)	中央区の地域資源に対し、市民（特に区民）が関心を深め、シビックプライドの涵養につなげるために、新潟シティガイドによる解説付まち歩き（えんでこ）や提案型によるまち歩き、伝統文化PR事業の推進などを行います。	
北前船がもたらした伝統的産業のPR 【拡充】(3,800千円)	開港150周年を意識しつつ、北前船と密接に関連する伝統的産品である「新潟漆器」と「発酵食」に加え、新潟奏の繁栄を象徴する「古町芸妓」についてもその魅力を再発見してもらい、次世代への普及促進とともにこれらの産業の振興を図ります。	
主な事業	旧入舟小学校跡地関連・北部総合コミュニティセンター移転改修(2,000千円)	改修した旧入舟小学校の校舎に、入舟連絡所、入舟健康センター、舟江図書館と併せて北部総合コミュニティセンターの機能を移転し、夏頃を目途に供用を開始します。また、同センターは災害時に指定避難所となることから、小学校グラウンド部分に移転される中央消防署附船出張所と併せて、災害時の地域防災の拠点として機能することになります。 (中央消防署附船出張所移転新築【再掲】166,000千円)

<b>江南区 予算の概要</b>	都市的なたたずまいと緑豊かな田園・自然がバランスよく共存している地域特性や、地域が持つ宝、地域資源を活かすことでまちの魅力・活力を向上させるとともに、区民の安心安全で健康な生活を守ることで「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」を目指します。
----------------------	--

	事業名・事業費(千円)	事業概要
<b>特色ある区づくり予算</b>	豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち	
	江南区未来づくりプロジェクト (1,300千円)	区豊かな田園・自然環境や、充実した商工業、良質な住宅地、交通網などの強みを最大限活かすための方策について、区の主要団体や地域住民とともに検討を行い、人口の減少に歯止めをかけます。
	みんなで語り、考える使いやすい公共交通 (700千円)	区内の多様な交通の利便性等について、利用する地域住民自らが語り、考えることで、より地域が使いやすい公共交通の実現を目指します。
	いい汗 いい食 江南健幸ライド (1,500千円)	江南区の平坦な地形特性と阿賀野川、小阿賀野川、信濃川など水と緑のネットワークを形成する資源を活用し、整備したサイクリングロードの利用拡大・PRのため、地元の食なども提供しながら健康増進や交流人口の拡大を図ります。
	人と人のつながりを大切にする安心安全なまち	
	地域で子育て ～見守る目、見守る心～ 【新規】(1,700千円)	地域の中に子育てを見守る目、見守る心が必要であることを発信し、地域全体で子育てを応援する機運を醸成します。また、父親の子育てへの参加を促進するとともに子育て世代に必要な情報を発信し、子どもたちが健やかに育つまちづくりを推進します。
	江南区ふれあい・ささえあいプランの推進 (1,750千円)	各種団体と協働して交流事業や福祉大会を開催することで、多世代交流を図るとともに区内の地域福祉を推進し、江南区地域福祉計画の基本理念「みんなでささえあい安心して暮らせるまち江南区」の実現を目指します。
	江南区安心・安全な地域づくりの推進 (3,600千円)	安心安全にかかる地域課題において「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識の醸成や防災・防犯・交通安全の分野における地域力強化を図ることで、安心安全な地域づくりを推進します。
	創造的な産業を育む活力のあるまち	
	地域商業活性化支援 【新規】(1,200千円)	亀田三・九の市と隣接する商店街の連携による活性化の取組みを支援し、相乗効果で商店街周辺の賑わい創出を図ります。
	「農」に親しむ (2,000千円)	江南区の親善大使キャラクターを積極的に活用しながら、収穫体験や加工体験など「農」に親しむ機会を提供し、地元生産者や農産物への理解と江南区の知名度アップを図ります。
	江南区ぐるっと巡って発見・体験ツアー (2,600千円)	江南区内の観光資源の発掘および深堀りと、その組み合わせにより魅力を高め、新たな観光資源として活用します。また、その情報を発信し、集客と交流人口の拡大を図ります。
	亀田縞地域ブランド化推進 (2,000千円)	亀田発祥の伝統織物である亀田縞を地域ブランドとして展開していくとともに、地域での活用だけでなく、国内外に販路を拡大していくことで、地場産業の振興及び地域経済の活性化につなげます。
	梅の里産地活性化 (800千円)	藤五郎梅の地域ブランドとしての価値を高めるため、梅果実高品質化の取組みと、新たな加工品開発や販売PRの展開を行い、産地の活性化を推進します。
	未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち	
「江南区をPR」ジュニアサポーター 【新規】(350千円)	文化・スポーツの分野で活躍する小・中学生を「ジュニアサポーター」に任命し、江南区をPRしてもらうことで、文化・スポーツのさらなる振興につなげるとともに、市内外へ江南区の魅力を発信します。	
文化芸術の創造・発信 (4,500千円)	区民の文化芸術に対する関心を高めるとともに、文化会館利活用のきっかけをつくることで、文化の創造と振興を図ります。	
主な事業	曾野木地区コミュニティ拠点施設整備 (3,000千円)	江南区曾野木地区において、地域住民の活動拠点となるコミュニティ施設及び近隣公立保育園2園の統合を軸とした施設の整備に向け事業者を選定します。



秋葉区 予算の概要	区民との協働により、秋葉区の魅力を活かした事業を実施し、シビックプライドの醸成を図るとともに、交流人口の拡大や、移住・定住のための仕組みづくりを行います。また、障がい者や高齢者の支援、子育てサポートにより、さらなる福祉の充実を進めます。
--------------	--

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり事業	うるおいとやすらぎのあるまち	
	里山ビジターセンター 発信力強化 (1,253千円)	里山ビジターセンターにガイドを配置し、同センター内および周辺の案内やミニトレッキングを実施するなど同センターの機能を拡大することで、里山の魅力発信強化を図ります。
	優歩道きれいにしてみ隊 (2,500千円)	区民の地域活動が活発な新津川や能代川沿いの遊歩道及び秋葉公園の遊歩道を、区民と協働で人にやさしい遊歩道として環境保全に取り組み、健康づくりや学びの場としても活用できるよう魅力向上を図ります。
	楽しく元気なまちなかどやさしさのあるまち	
	「つながる」「つなげる」 障がい者支援 【新規】(650千円)	発達に支援の必要な子どもに対して「つながる支援ファイル」を作成し、支援する各機関が必要な情報を共有する仕組みをつくります。又、保護者向けの講座を行い、悩みや心配ごとを共有できる仲間づくりを推進します。
	地域ぐるみでフレイル予防 【新規】(1,084千円)	心身の高齢変化が大きくなる高齢期に、フレイル(適切な対応をすれば回復可能な虚弱な状態)を予防し、健康寿命の延伸を図るため、身近な地域で住民が支え合いながら予防活動を継続できるように支援します。
	アキハで子育てサポート 【新規】(4,300千円)	より身近な子育て支援を充実させることにより、子育ての不安感や負担感を軽減します。
	歴史と個性を活かすまち	
	アキハスムプロジェクトVol.2 【新規】(2,707千円)	地域主体によるまちづくりを推進するため、秋葉区の特長・魅力をブランド化し発信することによるシビックプライドの醸成、市民活動に取り組む新たな人材の発掘・育成・活用、移住・定住のための仕組みづくりに取り組みます。
	吉田千秋NEXT100(センチュリー) 【拡充】(1,000千円)	2019年2月に没後100年を迎える吉田千秋の情熱を燃やししながら天折したその生き様と彼を育んだ地域(秋葉区)の個性を広くアピールし、次の100年へつなげていきます。
	Akihaの宝 子ども発見・ 体感・体験サポート (1,800千円)	秋葉区独自の宝(個性)を地域と連携しながら、区内小学校の子どもたちの発見・体感・体験の場として活用し、ふるさとへの愛着と誇りを育むことで、秋葉区の未来づくりを担う人材の育成を図ります。
	Akihaレール浪漫 <ren-ketsu> (2,032千円)	新津の鉄道に関する歴史、施設、人材などの地域資源(宝)を、商店街、地域住民、子ども達とともに活用し、「鉄道の街」への愛着と誇りを育みながら、まちなか活性化と交流人口の増加を図ります。
	花のまち・食のまち・育てるまち	
	花が迎えるまちづくり 【新規】(1,848千円)	R403号フラワーロードを新たに美しい季節の花・宿根草で彩り、緑を大切に育てる心を育むとともに、「花のまち」秋葉区を区内外に広くアピールします。
	Akiha花一番PR 【新規】(3,670千円)	主要な花木販売施設による共同企画の支援等を通じて、区内外へ「花のまち」秋葉区のイメージをアピールします。また、まちなかの花での装飾や、旅行者への花の配布を通じて、交流人口の増加を図ります。
Akiha稲架木LOVER'Sプロ ジェクトの推進 【新規】(700千円)	満願寺稲架木並木の下で昔ながらの米づくりを体験する機会を設け、農業や食べ物への関心を高め、将来に渡って秋葉区に愛着を持って、農業者を応援したくなるきっかけをつくることで、地域農業の活性化を図ります。	
生み出し活かすまち		
社会起業家プラットフォーム 運営&地域人材発掘・養成 【新規】(840千円)	起業家の養成講座や、シェアオフィス・コワーキングスペース(若者の居場所)の開設を通じて、事業・起業に意欲的な市民が活動する場をまちなかにつくるとともに、持続的なまちづくりを担う人材を創出します。	
主な事業	Akihaもち麦プロジェクトの 推進 【新規】(1,200千円)	機能性に注目が集まる「もち麦」を核に、農業、福祉、健康づくりの各分野で様々な取組みを展開し、秋葉区における課題の解決と魅力の向上を図ります。
	区民主動de秋葉公園魅力up 【新規】(6,000千円)	交流人口拡大や移住・定住の促進を図るため、区民主動で秋葉公園利用の活性化に向けた基本構想を策定します。
	里山未来の創造 (2,768千円)	区の魅力の一つである里山を活かしたまちづくりを目的に、区民と協働で策定した里山利活用の具体的行動計画に基づき、里山の魅力発信やにぎわい創出、次世代につながる環境教育を行います。
	障がい者チャレンジ支援 (820千円)	福祉施設に通所する障がい者に職場実習・体験の場を提供し、就労、自立に向けたサポートを行い、能力向上と生きがいのある生活を送る支援を行います。
	あきはサポートネット (584千円)	秋葉区認知症キャラバンメイト連絡会を中心に、事業所や地域の機関等とのネットワークづくりに取り組みます。また、認知症フォーラムの開催や認知症カフェの開催支援に取り組みます。

南区 予算の概要	「大地の恵みと伝統・文化にはぐくまれた郷土愛にあふれる、いきいきと暮らせるまち」を目指し、南区の魅力の向上と発信に取り組みます。また、区民や地域団体との協働や学校との連携により、賑わいの創出を図るとともに、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。
-------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち	
	地域と取り組む防災事業【拡充】(2,000千円)	自主防災組織の機能強化や地域防災の担い手育成の一環として、中学生防災教室・高校生防災ボランティア講座等の防災学習を実施し、災害時に自助・共助による安心安全なまちづくりを推進します。
	空き家対策プロジェクト(700千円)	空き家調査結果の地域との情報共有や空き家に関するセミナー等を開催し、市民意識の啓発、利活用に向けた情報提供などで、空き家発生抑制や活用促進につなげます。
	地域包括ケアシステムの推進(1,800千円)	地域の实情に合わせた住民同士の助け合いの取組みを広めるとともに、在宅医療の啓発を行い、高齢者を地域で支える意識の醸成や体制づくりを行います。また、食育や運動を活用した健康づくりを進めます。
	地域で子育てネットワーク(1,200千円)	子育て支援リーダーを活用し、子育て中の保護者が気軽に利用できる「子育て広場」やNPプログラムの実施などにより、親子の居場所確保や育児不安の軽減を図ります。
	白根高校とのまちづくり連携事業【新規】(700千円)	区内唯一の高等学校である県立白根高校との連携の一環として、地域との様々なネットワークづくりを推進するとともに、まちづくりに資する人材育成を図ります。
	未来創造教室【拡充】(2,900千円)	南区の未来を担う小中学生に対し、地域の实情に合った学びの講座を実施することにより、郷土愛あふれる豊かな心の育成と自分や地域の将来を描ききっかけ作りを提供します。
	誰もが快適に移動できる交通の利便性が高いまち	
	南区まちづくり支援事業【拡充】(2,700千円)	国道8号白根バイパス全線開通後、空洞化が懸念されている白根のまちなかをはじめとした区の活性化に向けた事業を行う「にいがた南区創生会議」の取組みの支援を行います。
	農商工の連携が、新たな活力を生み出すまち	
	白根仏壇プロモーション(800千円)	伝統的工芸品「新潟・白根仏壇」の伝統工芸技術の継承と後継者育成を図るため、児童等を対象とした体験教室の実施、児童向け教本の製作・配付、高い技術を活かした新たなものづくりの支援を行います。
	大風が舞い、獅子が跳ね、ルレクチエが実るまち	
文化資源魅力UP事業【拡充】(2,500千円)	南区内の文化施設や文化活動等の文化資源の魅力を引き出し、価値を高めます。	
白根大風合戦映画のPR【新規】(1,000千円)	白根大風合戦ドキュメンタリー映画を用いたPR活動により、伝統ある白根大風合戦の文化を幅広く伝えます。	
南区おもてなし力向上プロジェクト【新規】(2,300千円)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け増加が予想される外国人を含めた来訪者に対し、観光協会等との協働により、観光コンテンツを磨きあげるとともに、おもてなし力の向上を図ります。	
南区ルレクチエブランディング【拡充】(3,400千円)	地元NPO法人との協働による新たなブランディングや、南区の風土と歴史とを組み合わせたストーリーづくりなどを通して、ルレクチエの知名度向上、交流人口の拡大、新たな担い手の移住促進により、南区の活性化を図ります。	
主な事業	地域おこし協力隊を活用した地域の活性化【新規】(3,488千円)	総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、都市圏から新潟市南区に移住可能な者を公募し「地域おこし協力隊員」として委嘱、行政では難しい柔軟な地域活性化策を推進します。また、委嘱期間終了後の隊員の定住・定着を図ります。

西区 予算の概要	豊かな自然環境、高度な学術機関が多くある西区の特性を活かし、地域との協働を軸に、大学とも連携し、健康寿命の延伸をはじめ、高齢者・子育て支援や防災、「西区産」農産物のPRや環境の保全、飛砂対策などに取り組み、すべての区民が安心して心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。
-------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	人と人がつながり、安心安全に暮らせるまち	
	西区健活チャレンジ 【新規】(1,900千円)	健康寿命延伸、生活習慣病予防、介護予防のため、ウォーキングや体操教室、地域団体からの依頼出張教室など、多種類の健康教室やイベントを実施し、こどもから高齢者まで、区民がいつまでも元気で、より健康的な生活を送れるよう支援を行います。
	支え合いのまちづくり支援 【新規】(4,590千円)	支え合いのしくみづくりを進めるため、啓発講座を実施しパンフレットを作成するとともに、一人暮らし高齢者に対する訪問により必要な支援につなげます。さらに、小・中学生向け認知症サポーター養成講座を開催するほか、新たに農福連携による障がい者自立支援・就労支援を行い、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるまちづくりを支援します。
	西区の子育て応援 【新規】(3,940千円)	子育てを支援する各種プログラムを実施するほか、新たに子育て情報をSNSにより配信し、育児の不安や孤独感の軽減、仲間づくりを支援し、虐待の未然予防を図ります。加えて、子育て支援関係者の交流を通じ、ネットワークの充実を図ります。
	西区安心安全な地域づくり推進 【新規】(4,700千円)	地域防災力強化のため、避難マップ作成や防災訓練などの地域の自主的な取り組みを支援します。また、新たに中学1年生を対象とした自転車安全運転講習会や高齢者を対象とした安全運転指導により、交通安全を進めるほか、防犯の啓発にも取り組みます。
	都市と農村が融合するまち	
	西区特産農産物 魅力発信・ブランディング 【新規】(3,360千円)	西区の特産農産物の魅力を県内外に発信し、知名度向上とブランド化、消費拡大を推進します。また、国のGI登録された「くろさき茶豆」を活用して商店街及び地域の活性化を目指すほか、農商工連携により、食と花の銘産品の新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」の高付加価値化に取り組みます。
	西区農地再生サポート (500千円)	耕作放棄地の再生と西区振興作物の作付拡大を目指すほか、農地の飛砂対策を進めます。
	「食×農」体験プログラムの実施 【新規】(1,800千円)	区内の小中学校と連携し、児童に地場農産物や農業を学び体験する機会を提供することで、子どもたちへの食育と地場農産物の消費拡大を推進します。また、農を学ぶ場として農業体験教室を開催し、都市部住民の農への理解を深めます。
	だれもが学び合える学術と文化のまち	
	西区スポーツ健康プロジェクト (1,040千円)	スポーツ健康事業を通じて区民の交流の場を創出するほか、障がい者を含めた区民の継続したスポーツを推進・サポートし、一人でも多くの区民からスポーツをすることの楽しさや喜びを感じてもらい、健康づくりや生きがいづくりに繋がります。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成を図ります。
	豊かな自然と快適な住環境を大切にすまち	
	未来につなぐきれいなまちづくり (1,900千円)	ごみのない、きれいなまちづくりを推進するため、地域と連携して西区の環境美化活動に取り組みます。また、子どもたちが環境学習する機会を充実させ、環境保全への関心と意識を育みます。
	げんきな保安林づくり (500千円)	海岸保安林を保全し、環境整備を進め、近隣住民の生活を守るとともに、市民の憩いの場として活用するため、ボランティア団体の育成・強化を図ります。
	西区を堪能 まち歩き・観光ツアー 【新規】(1,780千円)	区内に点在する魅力ある自然景観や史跡などを活用するほか、旬の特産農産物の収穫体験などを組み合わせた集客できる観光コースを企画作成し、まち歩きや観光ツアーの実施により、地域の魅力の再発見と交流人口の拡大を図ります。
地域と区役所が共に歩むまち		
出動！西区地域盛り上げ隊(中学生みらいデザイン編)(890千円)	次代を担う子どもたちが、地域をよりよく知り、関心を高めることを目的に、ワークショップを開催します。また、家族等と話し合う機会を設け、幅広い世代から地域に関心を持ってもらう契機とします。	
西区への愛着を育む～魅力お届け事業 【新規】(1,300千円)	人口減少を踏まえ、学生の定住を促進するため、学生に向けた西区の魅力発信を行うとともに、「西区かがやき大使」を通じて、西区の魅力を発信します。	

西蒲区 予算の概要	西蒲区の魅力である「食・農業」と「観光」を活用し区内外に発信するとともに、健康寿命の延伸や子育て支援、地域防災力の向上に努め、交流人口の拡大と地域の活性化を図り、人と人があたたかくつながるまちづくりを進めます。
--------------	---

	事業名・事業費(千円)	事業概要
特色ある区づくり予算	魅力あふれる農水産物を供給するまち	
	にしかん環境にやさしい農業実践～環境配慮型農業の推進～ 【新規】(1,000千円)	農家組合や生産者部会から、環境に配慮した農業の実践を「環境配慮共同宣言」として宣言してもらうとともに、一連の取組みを公表・PRすることで、農業者と一般市民の相互信頼を醸成し、環境配慮型農業の実践を進めます。
	新たな産地づくりプロジェクト (1,500千円)	2018年からの生産調整手法や、消費動向・流通体系など、農業をめぐる様々な情勢変化に対応し、将来の農業の担い手にもうかる農業経営を残すため、新たな農産物等の特産品の開発に取り組みます。
	観光とレクリエーションのまち	
	にしかん観光誘客促進 【新規】(3,350千円)	県外や海外からの誘客促進を図るため、区内の観光資源と歴史文化的につながりのある旧西蒲原及び県央エリアを巡る広域観光ツアー商品の造成に向けたモデルコースツアーの実施や、今後のインバウンド増加への対応として施設等に外国語案内看板の設置を行います。あわせて、区内の史跡等を紹介する「北国街道まち歩き」を継続して実施し、区の魅力を発信します。
	西蒲映画の活用 【新規】(2,200千円)	西蒲区の魅力を題材として制作した西蒲映画3部作をインターネットや各地のイベント、映画館等で上映し、西蒲区の魅力を広く伝え、交流人口の拡大や移住者の増加につなげるとともに、海外に向けての発信も強化し、インバウンドの獲得を図ります。
	角田山麓まちづくり (2,050千円)	地域や関係団体と連携して、角田山麓に新たな賑わいスポットを創生するとともに、角田山自然館を活用したイベント開催などにより、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図ります。
	インバウンド受入態勢の整備 【新規】(1,470千円)	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、インバウンド需要を確実に取り込むため、区内等の観光関連事業者を対象にインバウンド対応の必要性や外国人の多様性、他地域での成功事例などを学ぶセミナー等を開催し、インバウンド誘客への機運向上と受入態勢の整備を図ります。
	にしかん健康プロジェクト～はじめの一歩 つづける一歩～ 【新規】(3,800千円)	健康寿命の延伸をめざし、子どもからお年寄りまで「栄養」「運動」「お口の健康」の大切さを普及します。西蒲区民が自ら健康意識を向上させ、改善に向けて行動ができる地域づくりを進めます。
	にしかんスポーツサポート 【新規】(700千円)	スポーツを通じた健康づくり、スポーツ活動の活性化を図るため、スポーツに親しむ機会の提供と支援を行います。
	人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち	
	地域の防災力向上支援 (2,200千円)	防災訓練や防災資機材整備への助成を行い、地域防災力の強化を図ります。次代の地域防災を担う中学生を対象に体験型防災学習を実施し、災害から生き抜く力を身につけてもらうとともに地域貢献の意識を育みます。
西蒲区こども環境プロジェクト 【新規】(1,220千円)	豊かな自然に恵まれた美しい西蒲区を未来の子どもたちに残すため、子どもたちを対象に環境イベントなどを開催し、環境やリサイクルに対する意識の醸成を図ります。	
楽しい子育て支援 (2,100千円)	子育てへの不安や孤立感を軽減し、安心して子どもを産み育て、子育てを楽しむことができる環境づくりを進めるほか、小中学生を対象に子育て体験教室を開催し、乳幼児とのふれあいを通して命の大切さを伝えます。	
地域で支える「いきいきお達者プロジェクト」 (2,410千円)	高齢者の見守り訪問や専門職員による介護予防の取組みなどを行うことで、高齢化率の高い西蒲区において、高齢者が心も身体も健康（お達者）で安心して過ごせ、共に支え合うことができる地域づくりを進めます。	
主な事業	新潟空港からの二次交通整備 【新規】(700千円)	新潟空港から岩室温泉および弥彦温泉までの乗合タクシーを往復運行し、空港利用者の西蒲区域への誘客促進を図ります。
	新たな三次交通手段の整備 【新規】(3,000千円)	岩室温泉を起点として、角田山麓や岩室地区にある主要な観光資源を巡る観光周遊バスを試験運行し、「新潟空港からの二次交通整備事業」と連携することで、県外客やインバウンド対応に向けた、区内および隣接する観光エリアとの周遊性の向上を図ります。
	ハッピープレイス推進 【新規】(6,000千円)	年間10万人以上が訪れる上堰湯公園の人気スポットであるひまわり広場周辺で、高齢者・障がい者等に配慮したユニバーサルデザインを取り入れた環境整備を行い、観光交流拠点としての魅力を高めます。
	(仮称) 潟東地域コミュニティセンターの整備 (402,000千円)	潟東地区の3小学校統合を契機に策定された「潟東地域実行計画」に基づき、老朽化が進んでいる周辺公共施設機能を潟東体育館に統合・増築し、複合施設「(仮称)潟東地域コミュニティセンター」として整備し、2020年度の供用開始に向け建設本体工事を実施します。

## 2019年度 区自治協議会提案事業（概要）

複雑・多様化する地域課題に対応し、市民力・地域力を活かしたまちづくりを進めるため、区自治協議会の提案をその主体的な取組みのもとに事業化します。

※ 現時点でのものであり、今後変更となる場合があります。

区	事業名	事業概要
北区	生きる力・支えあう力の育み (1,000千円)	①全てのママ・パパ応援プロジェクト 乳幼児の育成環境改善のため、子育てに大事なことをまとめたテキストを作成、配付し、区内全ての乳幼児の保護者が学ぶ機会を設けます。 ②大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業 新潟医療福祉大学学生がセミナーを開催。健康寿命の延伸へ繋がります。
	潤いの福島潟創出 (1,000千円)	福島潟のラムサール条約登録に向け、周辺環境への理解を深めるために、水辺環境の保全と活用を話し合うワークショップなどを開催します。
	子どもと音楽の出会い創出 (2,000千円)	区内の小学生を対象に、音楽を身近に楽しむ機会を設け、次代を担う子どもたちの感性を育みます。
	北区みんなで見守り隊 (1,000千円)	区内で見守り活動を行っている多数の団体を繋げ、学び、情報交換をする機会を設け、安心安全を築くだけでなく、支え合いの意識の醸成や地域の活性化に結び付けます。
東区	東区まちづくり力・向上プロジェクト (5,000千円)	より良いまちづくりの実現のため、東区民の持っているまちづくりの力を向上させながら、地域課題の解決に向け、下記の事業を実施します。 ①じゅんさい池の自然環境保全 ②発災時の地域防災対応力の向上 ③東区めぐり子どもバスツアー ④東区の魅力PR・おもてなし ⑤農産物の魅力発信 ⑥公共交通の研究 ⑦東区まちづくり研究会
中央区	身近な課題から広げる 協働のまちづくり 調査・検討 (1,500千円)	区自治協議会が、地域で生活する上での身近な課題に対し、モデル事業や調査・検討などを主体的に行い、地域住民と区とが協働で進めるまちづくりに繋がります。 併せて、区が実施する特色ある区づくり事業に対しても、自治協議会がより積極的に関わり、区と連携して取り組んでいきます。
江南区	まちづくりサポートプロジェクト (2,000千円)	江南区をPRできるイベントやコミュニティの活性化、人口減少対策に向けた地域の取組みをサポートすることで、江南区のさらなる魅力発信および地域の課題解決につなげます。
	子ども達の声を活かす地域“未来”プロジェクト (1,500千円)	子ども達からのまちづくりや地域課題に関するアンケート等から、生活環境、教育、生涯学習、文化・スポーツなどの分野を中心に事業を検討し、子ども達が考える地域“未来”を目指します。
	誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト (1,500千円)	江南区に住む子どもから高齢者まで、すべての人々が安心して暮らせるように、防犯、防災、交通安全、福祉などを重点に地域での啓発活動を通じ、安心安全・防災意識の向上を図ります。

秋葉区	課題解決きらめきサポートプロジェクト (1,600千円)	地域の課題解決につながる事業を広く募集し、自治協議会が協働することで取組みが深化するようなサポートプロジェクトを行います。
	・地域と福祉施設をつなぐ防災時のサポート ・大いに笑い、脳を活性化して認知症予防 (1,006千円)	・災害時に協力し合えるよう防災情報を共有し、地域と福祉施設との顔の見える関係づくりを目指します。 ・自分自身で脳と体の健康を保ち、認知症を予防するための講演会を開催します。
	あきは子ども大学 (1,000千円)	次世代を担う子どもたちに、秋葉区の特徴や伝統を継続的に体験してもらい、その様子を記録に残し広く周知することで、地域への愛着や興味関心をさらに高めるとともに、未来につながる主体的な学びの機会となるよう実施します。
	コミュニティFMを活用した自治協議会のPR (1,010千円)	区自治協議会の認知度向上のため、秋葉区ならではのコミュニティ放送局「FMにいつ」を活用し、委員自ら番組制作に携わり、広報活動を行うことで、区自治協議会の活動をPRします。
南区	南区公共交通のPR 南区防犯・防災の啓発 (1,000千円)	南区の公共交通機関の利用啓発を図り、利用者数の増加につなげるため、情報紙などの作成や区バスの車内装飾等を行います。また、安心・安全で住みよいまちづくりにつなげるため、防犯・防災に係る啓発活動やグッズの作成等を行います。
	南区「家族ふれ愛月間」 南区出会いの場づくり (1,500千円)	家族の繋がりを大切に、温かい家庭を育むことを目的とした「家族ふれ愛月間」のさらなる定着及び拡充を図るため、映画の上映会や絵画・川柳展を開催します。また、少子化対策、晩婚化・未婚化対策、定住化の促進を目的として、独身の男女を対象に出会いの場づくりイベントを開催します。
	南区の魅力発信 南区スポーツ交流 (1,000千円)	南区の様々な魅力を市内外に発信するとともに、伝統芸能の保存・普及を図ります。また、区民のさらなる交流を目的としたスポーツイベントを開催します。
	南区まちづくり活動のサポート (2,500千円)	区内のコミュニティ協議会など地域活動団体から、地域の課題解決につながる事業を広く募集し、区自治協議会が選定して実施します。
西区	地域課題解決に向けた事業募集 (2,000千円)	「空き家にならないための取組み」「地域の担い手育成等」「支え合いのしくみづくりの輪を広げる」「区の魅力発信・賑わい創出」の4つの地域課題の解決に繋がる事業を各種地域活動団体等から募集し、協働して実施します。
	西区アートフェスティバル (1,800千円)	「音楽・芸能」などアートの表現活動に取り組んでいる区内団体等の発表の場として「西区アートフェスティバル」を開催します。区民とプロによる表現を通して、学術・文化豊かな西区の魅力を発信し、地域の宝を共有します。
西蒲区	西蒲区「豊かな心」の育成 (1,500千円)	次世代を担う子どもたちの「豊かな心」を育成・形成するため、保護者を対象に社会教育の専門家による講演会を開催し、価値観やライフスタイルの変化、人間関係の多様化・複雑化に伴う教育問題に対応するための方法を学びます。
	西蒲区認知症対策 (1,500千円)	認知症に関する正しい知識を学び、認知症予防への関心を高めるとともに、運動習慣や脳トレ習慣を身に着けることで、健康意識の醸成・認知症予防など、健康寿命の延伸を図ります。
	西蒲区まち歩きガイドの養成 (2,000千円)	まち歩きガイドを養成し、西蒲区のまちの魅力を区内外へPRすることで人を呼び込み、地域の活性化を図ります。

## 令和 2 年度「特色ある区づくり予算」の事業アイデアについて

令和 2 年度「特色ある区づくり予算」の事業案作成にあたり、委員の皆様よりアイデアをお寄せください。

提出期限：令和元年 8 月 19 日（月）

提出方法：FAX（22-0228）、メール（chiikisomu.a@city.niigata.lg.jp）

持参、郵便などで事務局（秋葉区地域総務課）までお送りください。

任意の様式でも構いません。

本提出様式の電子データが必要な場合は、ご連絡いただければお送りいたします。

委員氏名		ご連絡先	
事業区分	（該当する事業に○をつけてください。なお、自治協提案事業の場合は、部会事業か横断的かもお知らせください） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区役所企画事業</li> <li>・ 自治協議会提案事業（ _____ 部会 ・ 横断的）</li> </ul>		
事業名	（仮称）		
目的・趣旨	（期待される効果など）		
事業概要・内容	（いつ、どこで、誰が、何を、どうするなど具体的に）		
概算事業費	（算定困難な場合は省略可）		
その他参考事項			